

産業保安高度化推進事業

令和3年度補正予算案額 **5.0億円**

産業保安グループ
保安課、高圧ガス保安室、ガス安全室、
電力安全課

事業の内容

事業目的・概要

- 電力、ガス等の産業インフラにおける保安人材の枯渇や設備の高経年化などの課題に対処し、国民の安全・安心を確保するためには、IoT、AI、ドローン等の新たなテクノロジーの導入により産業保安の効率性と安全性を向上させる「スマート保安」が重要です。
- さらに、景気後退により資金繰りが悪化している企業においては、保安の維持に対する投資を先送りする傾向があるため、早期の支援により保安への継続的な投資を促す必要があります。
- 本事業では、IoT・AI・ドローン等の新たなテクノロジーを産業保安分野に導入するための技術実証のための取組を支援します。

成果目標

- IoT・AI・ドローン等の新たなテクノロジーを産業保安分野に導入し、多様かつ複雑な保安作業について、機械化・自動化を推進することで、保安業務の合理化・保安レベルの向上を図り、国民・企業の安全の確保につなげるとともに、企業の競争力を強化します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

1. 産業保安AIの実証

- 異常検知による事故・故障等の未然防止、予兆検知によるO&M改善、運転・点検の自動化等、AI等の先進技術の導入により、高度な判断による異常検知・自動制御等の運転最適化を実現する取組を行う。

2. 防爆モビリティの実証

- 電子機器類の使用が禁止されるコンビナートをはじめとした産業保安の現場で使用可能な防爆モビリティ（防爆ドローン、防爆ローバー等）による高所・危険領域点検、巡回による監視データ自動取得等、現場作業効率化を実現する取組を行う。

3. 産業保安分野のデータ収集・活用に係る手法の実証

- 各種センサー、カメラ等のIoT機器等を活用した高度なセンシング技術、新たなデータ収集・蓄積手法、そのデータを活用するシステム等の組み合わせにより、保安活動や設備利用の効率化・高度化等を実現する取組を行う。